体験マップ 佐久島

歴史を知る

佐久島には古墳時代後期の古墳が、かつて50基あまり確認されている。その代表が**山の神塚古墳** [B2] だ。6世紀後半～7世紀の横穴円墳。凝灰岩をくりぬいた玄室・金環が出土した。他に**秋葉山古墳** [B4]、**石屋第一号古墳** [C2]、**外浦古墳** [A2]、**平古古墳群** [C5] も見学することができる。

大山にある山の神塚古墳

八面神社本殿

1024年創建と伝えられる**八面神社** [B4] には、江戸時代初期に再建された**八面神社本殿**、**神明社本殿**が残っている。現在は、八日講と秋の大祭の所に公開される愛知県指定有形文化財。

阿弥陀寺観音堂

阿弥陀寺観音堂 [B4] にある観音堂の寄木造の**知恵輪観音座像**は、1600年の始まりの観音信仰の貴重な仏像だが現在は非公開。

弁財天社

1192年、後鳥羽上皇の第七皇子と伝えられる**青潮院**によって建立されたといわれる**瑞運寺** [C1] には、鎌倉時代の板碑があり、徳川家康が滞在したという言い伝えも残っている。

瑞運寺

筒島弁財天 [D5] は、浦郡竹島の八百富神社と豊川三明寺に並ぶ**三河三弁天**のひとつ。室町時代(約600年前)の作であることが新たに判明した**弁財天坐像**。毎年8月16日には弁財天祭典がおこなわれるが、本開帳(巳年)と合開帳(亥年)には1度しか弁財天の姿を拝むことができない。弁財天祭典当日には、社務所で**御朱印神祠** [B2] では「願は人、体は蛇」という**神林**を拝観できる。

筒島弁財天社

願い石

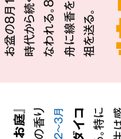
筒島では、弁天さんへの願い事を平らな石に記す**願い石の奉納**」が行われている。お願いごとがかなった時は、お礼石を奉納して感謝の気持ちを捧げる。

佐久島は「にほんの里100選」に選ばれました
筒島の「知恵の輪」(佐久島ナビステーション所)

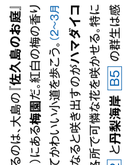
自然を歩く

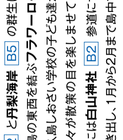
島内には曜地性、海岸性の植物が生息している。10キロしか離れていないが本土と異なる植生は、南の島気分を満喫できる。島の北側の東西をつらぬく**ハイキングロード**は別名「椿ロード」。2000本のヤブツバキがトンネルのように続く。(3～4月頃)

ハイキングロードのヤブツバキ


丹裂海岸のハマダイコン

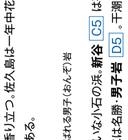
大島・佐久島のお蔵の梅園


春を告げるのは、大島の「**佐久島のお蔵**(図 D4)」にある**梅園**だ。紅白の梅の香りに混ぎれてかおいい小道を歩こう。(2～3月頃) 4月になると咲き出すのが**ハマダイコン**。島内各所で可憐な花を咲かせる。特に**石垣** [C2] と**丹裂海岸** [B5] の崖生は感動的だ。島の東西を結ぶ**フラワーロード**には、佐久島しおさい学校の子どもたちが丹精した花々が散策の目を楽しませてくれる。12月には**白山神社** [B2] 参道にサザンカが咲き出し、1月から2月まで島中でスイセンが香りはじめ、佐久島は一年中花咲く島なのである。


軍艦岩と釣れる男子(さんぞ)岩

海岸線もみどころが多い。**丹裂** [B5] は生れない方の浜、**新谷** [C5] は砕け た大岩が浜辺を漂着に染める。筒島の手前には名勝**男子岩** [D5]。干潮時に は歩いていくことができる。潮がいすいので足もと注意。

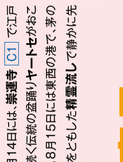
珍崎 [B3]、**大明神** [D3]、**高千谷** [A4]、**大島断側** [D4] は干潮になると島見が 変じて鬼の洗濯板」のような岩盤が仕観だ。磯の生き物を観察するのも楽しい。


筒島

筒島奥の竹林

島の祭りの中心はいずれも**佐久島太鼓**の奉納である。男たちは見事な太鼓の打ち込みを披露する。素朴で力強い太鼓は一度聴けば忘れない迫力がある。お盆の8月14日には、**瑞運寺** [C1] で山戸時代から続く伝統の盆踊り**サートセ**がおこなわれる。8月15日には東西の港で、茅の舟に綿菓子ともした**精霊流し**で精霊に先祖を送る。

八幡神社の「八日講祭り」

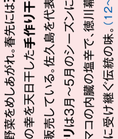

佐久島太鼓

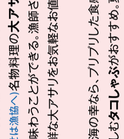
西の盆踊りサートセ

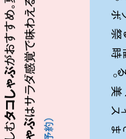
祭りに出会う

信仰の島、佐久島の一年は、毎年1月8日に**八面神社** [B4] の**八日講祭り**から始まる。「鬼の字が書かれた八角鼎に百男が祭宴払いの弓を射ると、島民は 厄払いに鼎の骨を 奪い合う。250年の歴史を持つ伝統の祭りだ。

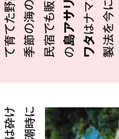
特産品を味わう


東浦海場のとれたて里の幸


干物


佐久島名物大アサリ汁

島の特産物を買うなら、東西漁船場にある無人市。島のお年寄りが丹精込め て育てた野菜をめし上がれ。春先には**天然の干しワカメ**も並ぶ [C1] [C4]。季節の海の幸を天日干しした**手作り干物**は島内イベントや前日予約があれば民宿でも販売している。佐久島を代表する海産物は**アサリとニノワダ**。絶品の**島アサリ**は3月～5月のシーズンにぜひ民宿・食堂で味わってほしい。**コノワタ**はナマコの内臓の塩辛で、徳川幕府にも献上された逸上の珍味。当時の製法を今に受け継ぐ伝統の味。(12～2月限定販売。


西の盆踊りサートセ

問い合わせは漁師へ名物料理の**大アサリ汁**は、一年中食堂で味わうことができる。漁師さんが来港して採った新鮮な大アサリをお気軽をお値段で。

三河湾の海の幸なら、プリプリした食感をヘルシーな鍋で楽しむ**タコしゃぶ**がおすすめ。夏期限定の**タコの冷しゃぶ**はサラダ感覚で味わえる。
(民宿で要予約)

三河・佐久島 アートプラン21

大村雄人 カモメの住む家海」2005年

佐久島を知る

島の交通

佐久島へは、名古屋から約2時間。三河湾の海上を約1時間。佐久島の港は、西港と東港の2つ。西港は